



比奈知ダム

星空観測会の開催

12月15日(土)に比奈知ダム星空観測会(主催:名張市役所環境対策室・三重県・水資源機構、協力:松阪市天体観測施設天文台実行委員)が開催されました。星空観測は名張市役所の環境啓発活動の一環で開催するもので、市街地と郊外の星空の見え方の違いを通じ、地球温暖化防止策としてのライトダウンなどについて考えるきっかけとすることを目的とするものです。観測会当日は、事前に応募した約40名の参加者が、星空や比奈知ダムに関するレクチャーを受けた後、星空観測を行いました。カウントダウンによりダム照明のライトダウンを行った後、参加者は講師の方の説明を受けながら星空観測を行い、望遠鏡による月や火星等の観察や流れ星を楽しみました。

実際に望遠鏡から見えたお月様



2018 名張ひなち湖紅葉マラソン大会

11月18日(日)に2018名張ひなち湖紅葉マラソン大会が開催されました。当日は秋晴れの天気のもと、最盛期を迎えた紅葉をバックに543名のランナーがひなち湖周辺を力走しました。水資源機構からは、川上ダム建設所から6名、木津川ダム総合管理所から5名参加しました。比奈知ダム管理所はブースを出展し、ダムや環境に関するパネル展示により啓発活動を行うとともに、流木リサイクルに関するPR活動を行いました。また、大会オリジナルのポストカードを作成し、参加者に配布するなど大会を盛り上げました。



木津総メンバーも頑張りました!

オリジナルポストカード



大阪電気通信大学 深層曝気設備調査報告会

比奈知ダムでは、貯水池底層の水質改善を目的に設置している深層曝気設備※の効率的な運用のため、大阪電気通信大学と連携し調査を進めています。12月17日(月)に比奈知ダム管理所で調査報告会が開催され、大阪電気通信大学の中田教授が「比奈知ダム深層曝気設備の効率的な運用のための効果的実験の報告」と題して発表しました。会場からは、効率的な運用に向けて、空気の吐出口の高さの変更や酸素濃度を高めるなどの意見が出されました。

※ 深層曝気設備の詳細は環境新聞第54号を参照して下さい。